

分野	交通安全施設の整備		事業番号	44	事業名	交通安全施設等整備(歩道整備)		
市町村名	松川村	ふりがな箇所名	国道147号		ほそのみどりちよう 細野~緑町	事業年度 (完了年度は見込)	H24年度~	H27年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	歩道設置工(片側) L=420m W=2.5m				H23年度末 事業進捗率	0.0%	
	H24年度以降残実施内容	同上				本工事費等ベース	0%	
	H24年度実施内容	用地測量、用地補償 一式				用地補償費ベース	0%	
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残		
事業費計(千円)	290,000	0	0	20,000	290,000			
財源内訳	国庫支出金	159,500	0	0	11,000	159,500		
	その他					0		
	県債					0		
	一般財源	130,500	0	0	9,000	130,500		
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			ランク	評点	
	必要性 (40)	自動車交通量(台/12h)	4,000台以上	1,000台以上4,000台未満	500台以上1,000台未満	A	15	
		歩行者交通量(人/日)	500台未満	歩 100人以上	40人未済		5	
		自転車・歩行者交通量(台・人/日)	歩 150台・人以上	40人~100人未済	40人未済		5	
		歩道の連続性	連続する	60~100台・人未済	60台・人未済		5	
		通学路の指定	指定あり	連続しない	指定なし		7	
	小計					32		
	重要性 (10)	重点施策への位置づけ	国の重点施策である	交通安全総点検を実施	位置づけなし	A	3	
		市町村整備計画への位置づけ	位置づけあり	位置づけなし	5			
		小計					8	
	効率性 (10)	コスト縮減の工夫	配慮している	配慮していない		C	0	
		事業効果(H24年以降残事業年数)	2年以内	3年~4年	5年以上		3	
		小計					3	
	緊急性 (10)	安全性の確保	幼稚園・保育園等	学校・駅等	関連施設なし	B	3	
		事故発生状況 人or自転車×車両	3件以上	1~2件	事故無し		3	
		小計					6	
	計画熟度 (30)	地元からの要望	非常に高い	高い	低い	A	10	
		用地取得状況	用地ストック有り	概ね合意	用地ストック無し		7	
		事業情報の共有	関係者以外周知	関係者中心に周知	周知していない		3	
		住民参加の状況	住民が直接参加	意見を反映	反映していない		3	
		小計					23	
	評価の合計						B	72
	事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	国道147号においてはH8~H13にかけてJR信濃松川駅の北側及び南側に歩道設置・交差点改良の事業が完了し、県道上生坂信濃松川(停)線ではH16~H18に歩道整備が完了した。こうした中、松本市・安曇野市のベッドタウンとしての住宅地開発が進み、工業団地の誘致にも積極的な松川村において、村の中心市街地の活性化及び歩行者等の安全確保のため、国道147号沿いの歩道整備が地域住民の課題となってきた。					
地域からの要望経緯		H16.10月、松川村は緑町地区より「車椅子で松川小学校に通学する児童が安心して国道を通過することができない」との指摘を受けた。同11月、松川村より県に歩道設置の要望がなされた。また、毎年地区から要望書が提出されている。						
事業説明等の経緯		H18県単交通安全対策(一種)事業により、松川村からの要望箇所について一部工事完了。平成21年.6月に計画説明会開催。						
環境・景観への配慮項目		過去の歩道整備においても高齢者や障害者に配慮した街づくりに協調して歩道整備が進められた。今回の歩道計画策定に当たっては、H19.3月に松川村が策定した「松川村障害者計画」の主旨を反映させる。						
他事業・プロジェクトとの関連		特になし						
特記事項		特になし。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他			
部意見	交通量が多く、歩道の中抜け区間であり、小学校に近接していることから、早期の歩道の整備が必要である。、		政策評価課 意見	必要性、重要性が認められる。				